



東京都ボウリング連盟 5 代目会長に佐藤直亮氏が就任

平成 30 年 5 月 26 日(土)に開催された、東京都ボウリング連盟平成 30 年度定時代議員総会において平成 30・31 年度役員選任ならびに小野清子会長の退任と名誉会長就任が承認されました。これを受けて行われた理事会において、佐藤直亮理事長が第 5 代会長に選出され新体制がスタートしました。なお、副会長兼理事長には田中裕之氏、同じく副会長には田原庄治氏と窪田洋氏が就任しました。

ご挨拶

東京都ボウリング連盟会長 佐藤直亮



東京都ボウリング連盟の創立は昭和 37 年(1962 年)。

当時、日本のボウリング組織である「日本ボウリング連盟」が創立されており、昭和 36 年(1961 年)には世界組織である国際柱技者連盟 (F・I・Q) に加盟しています。

昭和 39 年(1964 年)に全日本ボウリング協会 (現、公益財団法人全日本ボウリング協会) が設立された際、既に組織されていた東京都ボウリング連盟はその中核団体として加盟しました。

また、公益財団法人東京都体育協会へは、平成元年(1989 年)に加盟を果たし現在に至ります。

会長は初代藤野淳之介氏、2 代目荒川七郎氏、3 代目石渡照久氏、そして 4 代目として平成 9 年度(1997 年)より小野清子氏に会長職をお願いし、スポーツボウリングの普及、振興に努力してまいりました。平成 15 年(2003 年)には、文部科学大臣より「生涯スポーツ優良団体」表彰を受賞しております。

その後「スポーツ祭東京 2013」において国民体育大会ボウリング競技会を主管し、大成功を収めております。

数々の功績を残されました小野清子会長は、平成 30 年度連盟定時代議員総会・理事会において、名誉会長就任が決定し、私が会長職を引き継ぐことになりました、今後のボウリング界には、少子・高齢化や競技人口の減少など課題が山積しておりますが、連盟の過去の歴史を振り返りながら会員皆様のご協力を得、なお一層ボウリング界の発展に努力いたしたいと存じます。